

北陸地方整備局 松本砂防事務所
--------------------

記者発表
------

発表日時
------

平成24年11月6日
------------

配布をもって解禁
----------

## 姫川水系砂防土砂災害の教訓・継承シンポジウムの開催について

姫川水系では、今から101年前の明治44年（1911年）8月8日に、姫川左支川「浦川」上流部の稗田山で、後に「日本三大崩れ」の一つに数えられる非常に大規模な山体崩壊が発生しました。その後も頻繁に災害が発生し、近年では平成7年（1995年）に大規模な災害が発生するなど、幾度となく土砂災害に見舞われてきました。

このような状況の中、近年では、ゲリラ豪雨に代表される激しい集中豪雨が全国各地で観測されており、姫川流域においても大洪水や大規模土砂災害が発生する危険性が高まっているといえます。

そこで、これまでの災害を風化させず、教訓として継承し、さらに地域とともに土砂災害に備えた地域づくりを目指すことを目的として、別紙のとおり「姫川水系砂防土砂災害の教訓・継承シンポジウム」を開催します

添付資料：別紙 リーフレット

問い合わせ先	北陸地方整備局 松本砂防事務所
	Tel 0263-33-1115（代表）
	副所長 渡辺 芳巳
	副所長 地中 浩



姫川水系砂防直轄50年

# 姫川水系砂防 土砂災害の教訓・継承シンポジウム

災害の経験を教訓として  
自然の脅威から流域住民の生活を守る



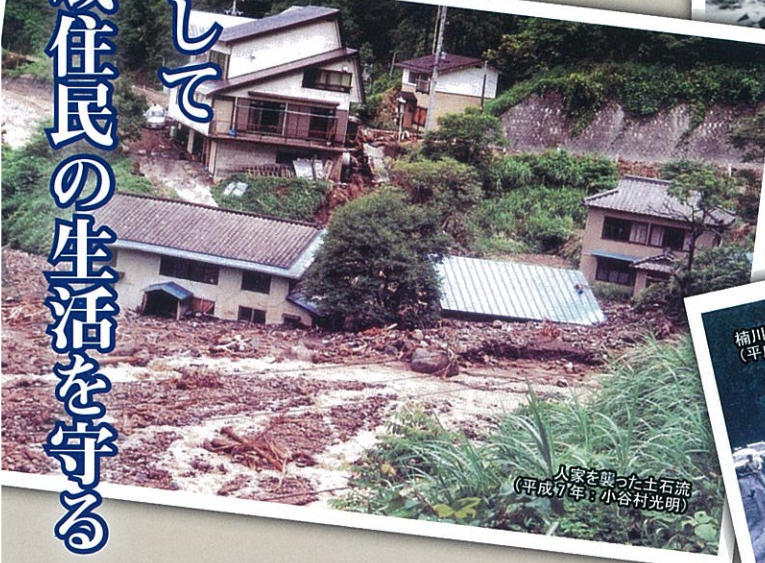
国道松川橋流失のため  
天糸線松川鉄橋を渡って避難  
(昭和34年 白馬村)



松川の氾濫、森上付近の水防作業  
(昭和34年 白馬村)



流出したJR大糸線、堤防、宅地  
(平成7年 糸魚川市平岩)



人家を襲った土石流  
(平成7年 小谷村光明)



柿川にえぐり取られた県道千国北城線  
(平成7年 白馬村瀬戸)



平川上流からの土砂を調整する「源太郎砂防堰堤」  
「はじめに砂防ありき」石碑 (白馬村)

2012 **11/9** **金**  
13:00 ~ 16:40 (12:00 開場)  
白馬村「ウイング21」

長野県北安曇郡白馬村大字北城2066番地 TEL:0261-72-8770

**入場無料**

事前申込は必要ありません。  
当日会場にお越しください。

主催：姫川水系砂防 土砂災害の教訓・継承実行委員会

後援：国土交通省北陸地方整備局、林野庁中部森林管理局、長野県、新潟県、糸魚川市、白馬村、小谷村  
(社)砂防学会、(社)日本地すべり学会、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、  
全国各地すべりがけ崩れ対策協議会、(社)北陸建設弘済会、長野県治水砂防協会、新潟県治水砂防協会、長野県砂防ボランティア協会、  
(社)長野県建設業協会、(社)長野県測量設計業協会、信濃川・姫川水系砂防工事促進期成同盟会、小谷村姫川流域直轄砂防事業等促進期成同盟会、  
信濃毎日新聞社、新潟日報社、朝日新聞長野総局、中日新聞社、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、  
NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、  
市民タイムス、大糸タイムス社、(株)上越タイムス社、新建新聞社、(株)日本工業経済新聞社長野支局・松本支局



◇◇◇ プログラム ◇◇◇

13:00 開会(開場12:00)

13:20 基調講演1

「災害伝承に学ぶ」

笹本 正治：信州大学副学長

14:20 基調講演2

「姫川流域の国土保全(仮題)」

南 哲行：国土交通省砂防部長

14:50 休 憩

15:10 パネルディスカッション

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| パネリスト    | 岡本 正男：(社)全国治水砂防協会理事長  |
|          | 太田 紘熙：白馬村長            |
|          | 松本 久志：小谷村長            |
|          | 米田 徹：糸魚川市長            |
|          | 平山 直子：伊那ケーブルテレビアナウンサー |
| コメンテーター  | 南 哲行：国土交通省砂防部長        |
|          | 笹本 正治：信州大学副学長         |
| コーディネーター | 平松 晋也：信州大学教授          |

16:40 閉会(予定)

◇◇◇ パネル展示 ◇◇◇

- ・土砂災害関係のパネルや姫川水系砂防事業の歩みについて展示
- ・大北のくらしの変遷

◇◇◇ 会場位置図 ◇◇◇

◇車でお越しの場合

中央自動車道→長野自動車道 安曇野ICより約50km

関越自動車道→上信越自動車道 長野ICより約45km

北陸自動車道→糸魚川ICより約45km

◇JRでお越しの場合

大糸線 白馬駅下車 約1km



白馬村「ウイング21」



【基調講演 講師/コメンテーター】



笹本 正治

信州大学副学長

1951年生まれ。1977年名古屋大学大学院文学研究科博士課程前課程修了。博士(歴史学)。1977年名古屋大学文学部助手。1984年信州大学人文学部助教授。1994年同教授。2009年10月より現職。1991年より1994年まで京都大学防災研究所客員助教授。1996年より1999年まで同客員教授。武田信玄を中心とする日本史を専攻。災害に関係しては『蛇拔・異人・木霊—歴史災害と伝承—』、『災害文化史の研究』などの著書がある。



南 哲行

国土交通省砂防部長

1952年生まれ。1977年京都大学農学部林学科卒業、農学博士。1977年建設省(現国土交通省)入省。1977年に噴火した北海道有珠山の泥流対策では、当時稗田山対策で試験的に施行されていた鋼製砂防堰堤の技術を現地に於て現地に於て本格的に実施。1996年に発生した蒲原沢土石流災害では、土木研究所砂防研究室長に於て現地において技術支援を実施。その後、奈良県土木部長、東北地方整備局道路部長・河川部長、本省砂防部保全課長、同砂防計画課長などを歴任し、2011年1月より現職。

【パネリスト】

岡本 正男 (社)全国治水砂防協会理事長

1947年生まれ。1971年京都大学農学部林学科卒業。農学博士。1972年建設省入省、土木研究所、河川局砂防部、松本砂防事務所、北陸地方建設局、大和川河川事務所、河川局災害対策調査室、広島県、ネパール等に勤務、砂防部長で2003年退職。現在、(社)全国治水砂防協会理事長、(社)砂防学会会長、(公社)国土緑化推進機構理事等。

太田 紘熙 白馬村長

1942年生まれ。1965年法政大学社会学部応用経済学科卒業。1989年白馬村議会議員選挙当選、連続3期歴任。2006年8月7日白馬村長に就任、現在2期目。白馬村観光局理事長。

松本 久志 小谷村長

1949年生まれ。1968年南安曇農業高校卒業。1968年長野県職員、2008年から2010年まで長野県姫川砂防事務所長、長野県砂防ボランティア協会会員。2011年4月長野県北安曇郡小谷村長に就任(現在1期目)

米田 徹 糸魚川市長

1949年生まれ。金沢工業大学工学部卒業。1987年糸魚川市議会議員当選、市議会議長等歴任。2005年糸魚川市長選挙当選、現在2期目。日本ジオパークネットワーク理事長。リサイクルポータル推進協議会会長。防災教育チャレンジプラン審議委員(内閣府)。

平山 直子 伊那ケーブルテレビアナウンサー

信州大学農学部森林学科卒業。伊那ケーブルテレビジョン入社。カメラを持って取材、企画番組、アナウンスなどを担当。2006年7月豪雨では、24時間以上にわたり災害の状況を生中継し、この際にアナウンスと取材を担当した。

【コーディネーター】

平松 晋也 信州大学教授

1958年生まれ。1981年愛媛大学農学部林学科卒業。農学博士。高知大学助教授を経て、2005年より信州大学農学部教授(砂防学)。1994年には、「雨水の浸透・流下過程を考慮した表層崩壊発生予測手法に関する研究」で砂防学会賞を受賞した。(社)砂防学会理事、(社)日本地すべり学会代議員。近年は深層崩壊やその予測手法の開発に向けた研究に取り組んでいる。

お問い合わせ：白馬村建設水道課……………TEL(0261)72-5000 (代表)  
国土交通省 松本砂防事務所……………TEL(0263)33-1115 (代表)